

平成25年 3月12日

担当課	新社会推進部社会活動推進課
直通	092-643-3380
内線	2819
担当	坂本、今泉

株式会社ローソンとの間で包括提携協定を締結します！(情報の補足追加)

～コンビニの強みを活かした協働で、福岡県の共助社会づくりを加速～

標記のことについては、3月7日に報道提供したところですが、これまでのローソンの取組や協定に基づいて行う新たな取組の内容について、情報を補足追加します。

なお、締結当日は、会場において、関連商品や県広報ラックも紹介する予定にしておりますので、お知らせします。

○ これまでのローソンの取組

ローソンには、これまでも、県内全店舗（約370）において、飲酒運転撲滅のための若者向け啓発リーフレットの配布や、DV相談窓口を記載したステッカーの店内女性トイレへの貼付に取り組みなど、県が展開する様々な施策に協力いただいています。

また、昨年夏の九州北部豪雨の際には、県との間で締結した「災害時における食料等物資の供給に関する協定」（平成18年3月締結）に基づいて飲料水の提供をいただくとともに、店頭で募金活動を行って県に義援金をいただきました。

○ 協定に基づいて行う主な取組の内容

① 県内約370の地域密着の店舗を活用した、県産品の販売促進や県政情報の提供

・ 県産ジビエ（イノシシ肉）や県産品を使用した商品の開発・販売

フランス料理では、イノシシ肉などはジビエとして珍重されています。県では、県内の農山村部で豊富に獲れるイノシシ等を地域資源として活用するため、「ふくおかジビエ研究会」を2月に設立しました。

ローソンは、この研究会に参加。自社の商品開発力を活かし、みやこ町の山の幸であるイノシシ肉を使って、ぼたん鍋などのジビエ料理商品を新たに開発。今回の協定締結を記念して、3月19日から4月1日までの2週間、県内に加え佐賀県、長崎県を含む約500の店舗で広く販売される予定です。

このほか、県産品を使った弁当やデザートの販売も予定しています。

・ 県内全店舗に福岡県専用の広報ラックを新設して県政情報を提供 (次ページのイメージ写真参照)

② 24時間営業の特徴を活かした、地域の安全・安心の取組

・ 「女性と子どもの安全みまもり企業」への登録や取組の推進

県では、女性や子どもを性犯罪から守るため、従業員への防犯教育、顧客への情報提供・啓発、地域の防犯活動への協力等に自主的に取り組んでいただく企業を募集しています。

ローソンが県のこの取組に賛同・協力し、多くの店舗がこれに登録し活動することで、性犯罪の抑止や地域の防犯環境の向上が期待されます。

③ 若い世代の来店者が多い特徴を活かした、飲酒運転撲滅等の啓発

・ 飲酒運転撲滅宣言企業への登録や飲酒運転撲滅啓発リーフレットの配布等

飲酒運転の撲滅は県政の重要課題であり、中でも若者への啓発は大切なテーマの一つです。

ローソンがこの取組に賛同・協力し、多くの店舗が飲酒運転撲滅宣言企業への登録など数々の取組を進めることで、特に若い世代に対して「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という意識の定着が期待されます。

〔参考〕 以下は、3月7日に提供した協定締結式の情報を再掲するものです。

〔協定締結式の概要〕

- 1 日 時 平成25年3月13日（水） 13時20分～13時40分
- 2 場 所 福岡県庁8階 特別会議室
- 3 出席者 にいなみ たけし 新浪 剛史 （株）ローソン代表取締役社長CEO
おがわ ひろし 小川 洋 福岡県知事

※ 福岡県専用の広報ラック案内板（イメージ写真）



左図の案内板をラック上部に設置し、県政チラシ・パンフレット8種類を配架。

※ NPO法人ワークinならわくワーク館（レーザー加工による図柄作成）、社会福祉法人 宰府福祉会 障害者支援施設「宰府園」（図柄の色づけ）、銘建産業株式会社（県産木材の提供）の協力のもと、ローソンが作成